

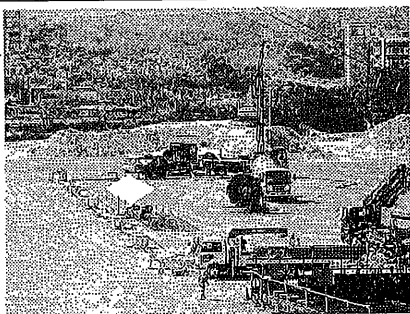
2013年(平成25年)10月8日(火曜日)

近畿、
送協組
生コン

土木用コンクリ圧送実験 評価ソフトに反映

日本建築学会近畿支部材料
施工部会と近畿生コンクリー
ト圧送協同組合近畿支部は
2、3の両日、神戸市垂水区
のサンコーで第8回フィール
ド実験を実施した。写真。
今回の実験では、土木工事
で使用するコンクリートの圧
送性を把握し、圧送性評価ソ
フトに反映させることを主な
目的として行った。圧送管は、

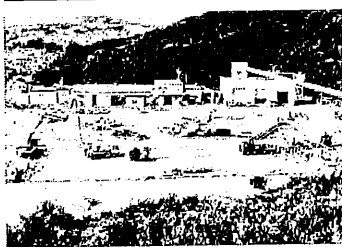
ポンプ車から実長合計88枚の
管をU字型に配置した。圧送
するコンクリートは土木調合
9種類、建築調合3種類の計
12種類を対象に、圧送前、シ
ュート、ホッパー、圧送後の
各段階で試料を採取し、試験
した。
2日の実験では、閉塞が起
こるとされているコンクリー
トの圧送性や管内圧力損失を



把握した。ベント管における
圧送状況の実験は、必ずみゲ
ージ測定を採用した。
3日の実験では、圧送によ
る空気量の増加の原因を把握

し改善策の提案を目的に実
施。事前に実施していた室内
実験の結果と実機の整合性の
確認や、コンクリートポンプ
に滞留した時の空気量を確認
したほか、フライアシュを
使いコンクリートの圧送性な
ども把握した。
評価した内容は組合が無料
で提供している圧送性評価ソ
フトのデータに反映する。
また、実験結果は、201
4年2月19日に開く第10回研
究会で発表する。10回目の節
目となるため、これまでの取
り組みの成果も報告する。

建設通信新聞 2013年(平成25年)10月8日<火曜日>



建築学会と近畿協が
フィールド実験
日本建築学会近畿支部
材料施工部会ポンプ工法
ワーキンググループと近
畿生コンクリート圧送協
同組合は、1日から3日
間、神戸市内で2013
年度第8回フィールド実
験を行った。写真。
実験には3日間で約70
人が参加。実験は土木工
事で用いるコンクリート
圧送時の管内圧力損失、

評価ソフトに反映

ベント管における圧送状
況を把握、評価して圧送
評価ソフトに反映するこ
とを目的として実施。
広大な会場の特性を生
かして行われた圧送実験
は、配管全長約90枚の中
に約80枚の直線部分を設
定。土木・建築調合での
圧送実験におけるプレッ

シュコンクリート試験を
行い、室内レベルと実機
による試料を採取してテ
ータを収集したほか、配
管を圧送した際の管内圧
力を測定した。
今回の試験結果は、来
年2月に開かれる第10回
圧送技術研究会で報告す
ることになっている。